



2019年2月12日

各位

会社名 **藤久株式会社**
FUJIKYU CORPORATION
代表者名 代表取締役社長 後藤 薫徳
(コード：9966 東証第一部・名証第一部)
問合せ先 常務取締役総務部、人事部担当
樹神 雄二
(TEL 052-774-1181代表)

業績予想の修正、資金の借入及び役員報酬減額の内容変更に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2018年11月8日に公表しました2019年6月期通期(2018年7月1日～2019年6月30日)の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

なお、当社は2018年12月17日付で、取引先金融機関より資金の借入を実施いたしました。また、役員報酬減額の内容を変更いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 2019年6月期通期業績予想の修正(2018年7月1日～2019年6月30日) (金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	19,954	△550	△540	△731	△173円86銭
今回修正予想(B)	19,253	△1,183	△1,173	△1,644	△391円00銭
増減額(B-A)	△701	△633	△633	△913	—
増減率(%)	△3.5	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2018年6月期)	20,170	△772	△762	△1,540	△366円32銭

2. 業績予想修正の理由

当社では、当第2四半期累計期間より、会社の収益力を回復させ、業績の回復を図ることを目的に、役員の担当替えを含む大幅な組織再編、出退店政策の見直し、戦略推進プロセスの仕組み化などの「構造改革」に取り組んでおります。店舗販売部門では、お客様満足度の向上を重点目標の一つとし、会員価格の見直しやセールスの仕組み改善など会員様の利便性向上策に取り組んでまいりました。その結果、来店客数は回復基調となり、セールス期間中の売上目標をほぼ達成するなど、徐々に効果が現れておりますが、まだ十分な効果の発現には至らず、引き続き厳しい経営成績となりました。

前回発表予想の立案に当たりましては、第2四半期末までのトーカーグループアプリダウンロード数を43万件、通期の店舗会員増加数5万人等を前提条件とし、既存店売上高の前年比100.0%の業績予想を見込んでおりました。しかしながら、アプリダウンロード数は約26万件、店舗会員は5万人減少と目標に未達となったことに加え、度重なる自然災害の影響も大きく、当第2四半期累計期間における既存店売上高は予想を下回り、前年比6.9%減となりました。また、会員価格やセール価格を大幅に見直した結果、粗利率が前年比1.9ポイント低下し、販売管理費の節約に努めましたものの、利益を減少させる結果となりました。

下期につきましても、引き続き「構造改革」を推し進め、既存店売上高の回復に努めてまいります。上期におきましては、既存の会員様に向けたダイレクトメールセールによる販促を実施してまいりましたが、下期につきましても、新規のお客様の来店増加を目的としたチラシによる販促を追加し、販促の回数を増やすと共に、上期に効果が見られた価格訴求型の販促を強化してまいります。また、アプリダウンロード数につきましても、獲得数の目標を見直すと共に、ダウンロード者様と店舗会員様との連携率を高め、双方の会員数増加を図ってまいります。

下期の既存店売上高につきましては、本日別途開示しております「2019年6月期第2四半期 四半期決算補足資料」1Pに記載のとおり、2018年8月を底に回復基調となった既存店売上高の動向を勘案し、前

年比101.0%に見直しましたものの、上期の落とし込みをカバーするには至らず、通期の売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。

利益面につきましては、売上総利益の減益が見込まれます中、経費の削減に努めますものの、下記「3. 資金の借入について」に記載のとおり、将来の収益に向けて前向きな投資を行うことに加え、価格訴求型の販促を強化することに伴う粗利率の低下もあり、営業利益、経常利益及び当期純利益ともに前回予想を下回る見込みとなりましたので、上記のとおり通期業績予想を修正いたします。

なお、中期経営計画につきましては、下期の業績推移等を勘案し、検討する必要がありますので、現時点では修正いたしておりません。修正計画等がまとまりましたら、適時適切に開示してまいります。

(注) 上記の予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

3. 資金の借入について

当社は、2018年12月17日付で、取引先銀行3行より資金の借入を実施いたしました。

(1) 借入の目的

当社が推進しております「構造改革」に伴う、既存店のブラッシュアップ、オムニチャネルのシステム開発、物流機能の合理化等への投資資金に充当する予定であります。

(2) 借入の内容

借入先	取引先銀行3行
借入金額(合計)	1,500百万円
借入金利	0.6%~0.9%
借入実行日	2018年12月17日
借入期間	1年~4年間

4. 役員報酬の減額について

当社は、2018年9月26日付「役員人事及び役員報酬減額に関するお知らせ」で開示しました、役員報酬減額の内容を変更し、減額の率を追加することとしましたのでお知らせいたします。

(1) 変更の内容

	変更後	変更前
代表取締役(1名)	月額報酬の40%減額	月額報酬の30%減額
常務取締役(1名)	月額報酬の15%減額	月額報酬の10%減額
常勤取締役(3名)	月額報酬の10%減額	月額報酬の5%減額

(2) 変更内容の対象期間

2019年1月から6月まで。

以上